

海外安全情報

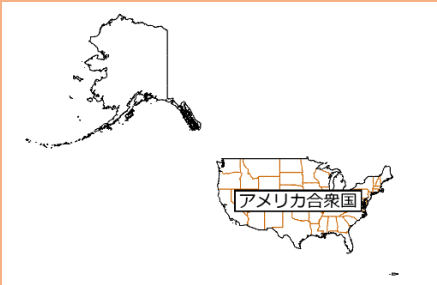
001.アメリカ合衆国

ーアメリカ合衆国

(United States of America)ー Vol.005

1. 外務省海外安全情報

2024年9月09日時点、
日本国外務省の海外安全
ホームページによる
「危険情報」は
発出されていません。



＜大麻の危険性＞
医療用または嗜好用の大麻の
使用等を合法化する州は近年
増加傾向にあり、嗜好用大麻については、現在、22の州およびワシ
ントンD.C.において成人による使用等が認められています（使用量
の制限や使用後の運転禁止等の規制があります）。ただし、日本の
大麻取締法は、大麻をみだりに栽培、所持、譲受、譲渡した場合など
に罰する規定があり、これらの行為は日本国外で行われても罪に
問われる場合があります。そのため、嗜好用大麻の使用等が合法化
されている州においても、大麻には決して手を出さないようにして
ください。

＜交通事故＞
車両走行は、日本と反対の右側通行です。路上でタクシーや観光
バス等から乗り降りする際や歩く際は、日本と違う旨で十分注意
してください。
引用：
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_221.html#ad-image-0

参考：
人口10万人当たりの交通事故死亡数の割合を日本と米国で比較す
ると以下の結果となっています。人口比において約3倍となります。

	日本	米国	参考年
死亡者数	4,682	35,092	2018
10万人あたり	4.1	12.4	2018

引用：交通安全に関するWHO世界状況報告書
(対象：車・バイク・自転車・歩行者)

2. 総合的脅威度（当社研究所作成）

当研究所独自の基準で日本と比較し5段階評価。

2024年9月09日時点

総合	-1	0	+1	+2	+3
テロ脅威度	-1	0	+1	+2	+3
誘拐発生率	-1	0	+1	+2	+3
一般犯罪	-1	0	+1	+2	+3
政情不安	-1	0	+1	+2	+3

-1=比較的安全 0=日本と同等 +1=比較的危险 +2=危険 +3=きわめて危険

＜総合＞
アメリカ全土で毎日、軽犯罪（すり、ひったくり）が起きています。例
えば、2024年8月時点、ニューヨークのセントラルパーク内では、2023年は
10件だった強盗事件が、2024年に入りすでに30件ということで警備強化に
あたっています。（ニューヨーク市警のデータ）また、銃器を用いた暴力
犯罪（強盗、殺人）も頻度は高く、教育現場・公園・ショッピングセン
ター・パーティ会場にて、多くの死傷者をもたらす銃乱射事件が頻繁に起
きています。近年は、偽警官が国際的詐欺グループが銀行口座を使ってい
る、と電話やSNSで脅迫・金銭要求する事案が増えています。違法薬物に関
しては、州ごとの規制がありますが、一般的にヘロイン、LSD、大麻等と
いった違法薬物は厳しい罰則の対象です。
国内の電話番号に関しての注意です。2024年11月1日より、主にロサンゼ
ルスで使われている「213」「323」の市外局番が、新しく「738」に割り当
てられる可能性があります。ご滞在予定の方はご注意ください。
＜テロ脅威度＞
米国当局は「イラク・レバントのイスラム国」（ISIL）「アル・カーイ
ダ」（AQ）といったイスラム系過激派組織による自爆などの攻撃、及び、
その思想に感化された「ホーム・グロウン型」テロ、単独犯によるローン
ウルフ型により日々国際テロの脅威を警戒しています。常に周囲に注意を
払い、地元メディアの最新情報を入手し、地元当局のアドバイスに従っ
てください。
＜一般犯罪＞
人口10万人当たりの主要犯罪の割合を日本と米国で比較すると以下の結
果となっています。

	日本	米国	参考年
殺人	0.23	6.81	2021
暴力犯罪	14.56	280.05	2021
誘拐	0.31	16.81	2021

引用：
UNODC(United Nations Office on Drugs and Crime)

3. 各国政府等からの海外安全情報

（英国政府等）

2024年9月09日時点

＜総評概訳＞
「テロリストが米国で攻撃を試みる可能性は非常に高い。」
外国人が訪れる場所も含め、無差別攻撃が行われる可能性がある。常に周
囲に注意を払い、地元メディアの最新情報を入手し、地元当局のアドバイ
スに従う必要があります。ターゲットには次のものが含まれる可能性があり
ます。・混雑したエリア ・交通ネットワーク ・公開イベント
引用：
<https://www.gov.uk/foreign-travel-advice/usa/safety-and-security>
＜テロ脅威度＞
「経済平和研究所による世界テロリズム指数 2023」では、米国は
世界163カ国中30位にランクされており、同国はテロの影響が非常
に高いと評価。
引用：2023Global Terrorism Index
<https://www.visionofhumanity.org/wp-content/uploads/2023/03/GTI-2023-web-170423.pdf>

4. 当社研究所現地特派員レポート

2024年9月09日時点

Q1：現地到着時、特有（日本と違う）の注意事項があれば教えてく
ださい。
A1：米国の入国に際し、持込みの禁止や数量が制限されているもの
や、持込みの際に診断書の提出や事前の許可申請を求められるもの
があります。出国前のご確認をお勧めします。
Q2：現地特有（日本と違う）の犯罪や事故に巻き込まれないように
するにはどうしたらよいでしょうか。
A2：米国においては、民事および刑事ともに法令・規則は州ごとに
定められ、一律ではありません。
滞在する州からの情報にはご注意ください。

参考：
①現地ニューヨークからお届け！【海外危機管理・安全情報】
(2022年3月1日)
https://www.youtube.com/watch?v=2Be_1CkM1Tg
②現地ロサンゼルスからお届け！【海外危機管理・安全情報】
(2022年3月1日)
<https://www.youtube.com/watch?v=6s1N90ncxa4>
③現地アラスカからお届け！【海外危機管理・安全情報】
(2024年4月14日)
<https://www.youtube.com/watch?v=oag3cWzJ8eQ>